

# STYLE HOUSE

## #03

スタイルハウス  
NEKO MOOK 276

家にこだわる、部屋にこだわる。

都市近郊・30坪までの  
こだわりの家  
30坪でここまでできる住宅実例19

【書斎にこだわる】 著名人に聞く書斎造り実例&机と椅子、そして書棚のカタログ

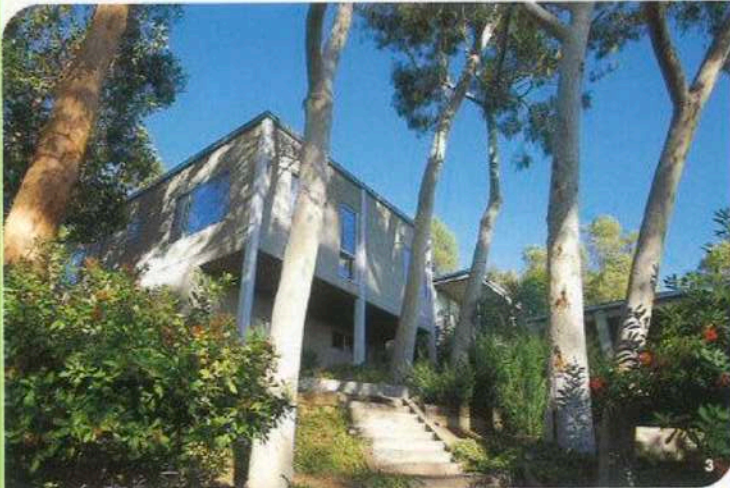
【2002年版 輸入&国産システムキッチン完璧アルバム】

【輸入住宅に学ぶ 高気密・高断熱のヒミツ】

# 海外 FROM OVERSEAS 快住計画

Brentwood, California USA

間取りをアメリカ流でいえば3ベッドルーム、2バスルーム、1パウダールーム。延べ床面積は270.35㎡という内容。写真のマスターベッドルームも、ご覧のとりの広々スペース。



1/オーナーの家具に対する情熱も感じる  
ことのできるダイニングルーム。マー  
ブル材のダイニングテーブルは以前住人  
でいた家に使っていたものをカットして使  
用。彫刻家であるオーナー自らの作品も  
壁に掛けられています。2/建物の中心に  
セットされるエントランスは、異輪。深  
から天井までにわたって曇りガラスがセ  
ットされており、日中を通してとても明  
るい空間です。3/建物のカラーはまわり  
に植えられるユーカリの木の色と合わ  
せられ、自然との調和が図られた外観。  
家のまわりのどこからも公共の目に触れ  
ることがなく、非常にプライベート。

4/キッチンに使用されるアプライアンス  
製品はドイツのブランドを多用。コンロ  
はGAGGENAU、オーブンはMiele。食洗  
機はボッシュ製。水回りの下に使用され  
るキャビネットは白に色分けされ、とて  
もお洒落な雰囲気。5/マスターバスル  
ームはバスタブとシャワールームが独立。  
窓のある西側には住宅が無く、ジャグ  
ジーのあるバスタブでリラックスしながら  
ダイナミックビューを楽しむことがで  
きます。6/リビングルームの隅はピアノ  
などが置かれるスタディールーム。奥のプ  
ールもユーカリの太木に包まれ通りの目に  
触れることもありません。



サ

ンタモニカからちょっと内陸に入った閑静な住宅エリアであるブレントウッドは、1950年代に開発が進められた丘陵地帯で、土地の造成を最小限に押さえ各住戸が等高線に合わせて配置されています。丘陵になじむようにデザインされたコミュニティは、現在でも新しい建築物を建てる際にデザイン、使用する材質、色に至るまで、コミュニティの建築委員会が厳しい審査を受けることが義務づけられており、全体の景観にも気が配られています。

ここに紹介する住宅はそのブレントウッドの中でも一番高台のエリアに建てられた一軒。1962年に建てられて以来、幾度となく増改築が繰り返され統一感が失われていましたが、現オーナーが購入の際に細部まで拘った全面的な改装を実施。その甲斐もあり改装から3年が経過した現在でも非常にいいコンディションが保たれています。

南側に面した斜面に建てられたこの住宅は、'50-'60年代のトレンドであったフラットルーフを持つ直線的なデザインが特徴。まわりに植えられたユーカリの木の色と合わせた外壁色で仕上げられており、自然との調和が図られています。リビングルームからはサンタモニカの街と太平洋が広がる絶景を一望することができますが、緑がしっかりと残されたコミュニティ開発のお陰で、プライベートもしっかりと保たれているのも魅力のひとつ。

インテリアは、白を基調とした壁とメープル材のフローリングのコンビネーションによって、明るい空間を演出。オーナーがコレクションするファインデザイン家具やオーナー自らが手がけるアート作品を陳列させるのにも一役買っています。まさにアートと自然、そして住居が見事に融合した落ち着いた空間といえるでしょう。

## 丘の上の60'sモダニズム

ロサンゼルスで3Bと呼ばれる高級住宅エリアがビバリーヒルズ、ベルエア、そして今回紹介する家が建つブレントウッド。丘陵地帯であるブレントウッドはサンタモニカと太平洋が一望することができる人気エリアです。

●Special thanks to Ken Tanaka Studio 310-230-0123



南側に広く取られたリビングルームには日差しがたくさん入ります。煙突もあえて見せるデザインでリビングのアクセントに。



Brentwood,  
California  
USA